

第10号

発行日 令和元年5月10日

発行元 三次市建設部都市建築課



尾関山ファンクラブ通信



会員数 113名
(R1.5.10現在)

満開の桜の下で第2回尾関山ファンクラブ お花見を開催しました☆☆

日増しに温かさが増し、上着もいらなくなる頃合いですが、ファンクラブ会員の皆さまにお変わりはございませんでしょうか。

4月6日(土) 22名の会員が集い2回目となりますお花見を、尾関山公園の桜のほぼ満開のもと晴天に恵まれ実施することができました。

会員によるこれまでの剪定や罹病対策、施肥等の作業の効果により、今年は例年より木が元気に多くの花を付け生き生きとしているように思われました。

当日尾関山には多くの方が花見に訪れ、思い思いの場所でそれぞれの楽しみ方で春を・桜を満喫されており、あらためて私たちの活動の素晴らしさを感じ嬉しく思いました。

しかしまだまだ場所によっては花の付きが悪く寂しく見える場所や樹勢の弱い木も見つけられました。

懇親を深めながら、もっともこの公園をみんなの憩いの場とするための活動を充実させなければと思いを新たにしました。会員の皆様の引き続いてのご協力をお願いいたします。

桜トリビアの泉

奈良時代頃まではお花見といえば桜ではなく梅だったようです！！

中国文化の影響を強く受け、桜より香りの高い中国伝来の梅を見ていたようで、万葉集でも梅を詠んだ歌が桜を詠んだ歌の3倍近くあります。

しかし、遣唐使廃止後の平安時代には日本独自の文化が発展し、古今和歌集では桜を詠んだ歌が梅の3倍近くとなり、【花見＝桜】として定着していきました。

日本で人気の理由として・・・

☆冬の後に咲き、春の訪れをわかりやすく教えてくれる

☆短命で咲き散っていく姿が、命の美しさや儚さを感じさせる

☆夜になってもしぼむことなく咲いている

☆きれいで華やかさが際立っている

など言われていますが、何より日本人の感性に強くマッチしているためと思われます。

春という始まりと出会いの季節を象徴する花であり、日本を代表する誰からも愛される花です

第6回 尾関山ファンクラブ作業のお知らせ

日時 : 6月2日(日曜日) 10時00分~12時00分(午前の部) 13時00分~15時00分(午後の部)

集合場所: 尾関山桜土手

作業内容: 施肥(お礼肥え)作業を行います。

服装等 : 作業ができる服装、お昼ごはん水分補給用に飲み物をご持参ください。

駐車場 : 尾関山公園駐車場 ☆尾関山公園内から祝橋方面に向かって作業を行います☆





桜Photo



桜の下で
かんぱ〜い



H31.4.7 (日)



満開の桜の下での
ごはんは格別！！



尾関山からこの時期
だけの絶景です



偶然おられたジャグリング
プレイヤーのスゴ技も
楽しみました☆☆

